



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス 上場取引所 東名
 コード番号 8016 URL http://www.onward-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 廣内 武
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門担当 (氏名) 吉沢 正明 (TEL) 03(4512)1030
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	205,441	7.4	10,123	△5.4	11,871	0.9	5,757	24.2
25年2月期第3四半期	191,365	4.9	10,704	△5.9	11,760	△3.6	4,636	6.4

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 15,494百万円(186.2%) 25年2月期第3四半期 5,414百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年2月期第3四半期	円 銭 36.70	円 銭 36.33
25年2月期第3四半期	29.56	29.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年2月期第3四半期	百万円 319,135	百万円 177,227	% 55.0
25年2月期	286,779	165,372	57.1

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 175,385百万円 25年2月期 163,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 24.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 277,000	% 7.2	百万円 12,900	% 15.3	百万円 14,800	% 10.4	百万円 5,000	% 11.0	円 銭 31.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年2月期3Q	172,921,669株	25年2月期	172,921,669株
26年2月期3Q	16,006,556株	25年2月期	16,046,184株
26年2月期3Q	156,898,636株	25年2月期3Q	156,826,234株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年3月1日～平成25年11月30日)におけるわが国経済は、政府による経済対策などの効果により円安・株高が進行し、企業収益や個人消費が改善されるなど、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、欧州債務問題や新興国経済の成長鈍化など世界経済の下振れによる影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当アパレル・ファッション業界では、消費マインドの好転から付加価値の高い商品を中心に市場の回復が見られましたが、10月以降は台風などの悪天候の影響や消費税率引き上げの決定から、一転して消費が鈍化するなど、厳しい状況となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山を中心に収益拡大を目指した積極的な施策を推進しました。また、当社グループの重点施策である顧客視点からの満足度を高めるため、企画提案力と店舗運営力をさらに強化し一定の成果をあげることができました。しかしながら、消費の最盛期に入る10月から、悪天候の影響や節約志向の高まりにより、株式会社オンワード樫山は増収増益基調を確保したものの、その他の国内事業は低調に推移しました。

海外事業につきましては、全体的に厳しい状況が続いており、アジア・北米地区は売上拡大に向けた施策を進めていますが、利益回復には少し時間がかかる見通しです。また、欧州地区は、当初計画からは遅れているものの、事業会社ごとの改善が進み、来期以降の大幅な収益改善が見込める状況となりました。

以上の結果、連結売上高は2,054億41百万円(前年同期比7.4%増)、連結営業利益は101億23百万円(前年同期比5.4%減)、連結経常利益は118億71百万円(前年同期比0.9%増)、連結四半期純利益は57億57百万円(前年同期比24.2%増)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

① アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山が、収益性の高い基幹ブランドの拡大と、ネットビジネスを大きく伸ばさせたことで増収増益基調を確保しましたが、その他の子会社は、第3四半期の売上拡大がはかれず厳しい状況となりました。

海外事業につきましては、売上拡大は進んだものの、業績改善にはいたりませんでした。

② その他の事業

サービス関連事業ならびにリゾート関連事業につきましては、事業拡大と収益性の向上が順調に進みました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ323億56百万円増加し、3,191億35百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ205億円増加し、1,419億7百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ118億55百万円増加し、1,772億27百万円となり、自己資本比率は、55.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年10月4日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社および一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,677	23,512
受取手形及び売掛金	25,863	38,057
商品及び製品	29,226	39,266
仕掛品	1,780	1,440
原材料及び貯蔵品	3,470	4,571
その他	15,755	14,561
貸倒引当金	△452	△574
流動資産合計	100,321	120,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,680	27,794
土地	50,061	51,814
その他(純額)	11,119	14,274
有形固定資産合計	86,861	93,883
無形固定資産		
のれん	32,769	30,472
その他	2,688	2,880
無形固定資産合計	35,457	33,352
投資その他の資産		
投資有価証券	42,730	51,344
その他	23,950	22,254
貸倒引当金	△2,541	△2,535
投資その他の資産合計	64,138	71,063
固定資産合計	186,458	198,299
資産合計	286,779	319,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,512	43,218
短期借入金	47,581	54,914
未払法人税等	4,829	1,527
賞与引当金	1,289	3,951
役員賞与引当金	252	143
返品調整引当金	528	786
ポイント引当金	249	261
その他	12,496	14,308
流動負債合計	100,740	119,111
固定負債		
長期借入金	1,323	1,795
退職給付引当金	3,058	3,136
役員退職慰労引当金	152	141
その他	16,132	17,723
固定負債合計	20,666	22,796
負債合計	121,407	141,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	120,164	122,124
自己株式	△23,146	△23,082
株主資本合計	177,141	179,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,531	7,808
繰延ヘッジ損益	34	78
土地再評価差額金	△12,502	△12,502
為替換算調整勘定	△2,483	834
その他の包括利益累計額合計	△13,420	△3,780
新株予約権	724	799
少数株主持分	926	1,043
純資産合計	165,372	177,227
負債純資産合計	286,779	319,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	191,365	205,441
売上原価	96,966	106,583
売上総利益	94,398	98,858
販売費及び一般管理費	83,694	88,734
営業利益	10,704	10,123
営業外収益		
受取利息	74	109
受取配当金	313	321
受取ロイヤリティー	470	580
受取地代家賃	456	448
その他	1,179	1,450
営業外収益合計	2,494	2,910
営業外費用		
支払利息	503	422
売場什器等除却損	135	184
為替差損	468	—
その他	331	556
営業外費用合計	1,438	1,163
経常利益	11,760	11,871
特別利益		
固定資産売却益	8	186
投資有価証券売却益	—	887
特別利益合計	8	1,073
特別損失		
固定資産処分損	91	86
減損損失	137	128
特別退職金	—	77
その他	36	64
特別損失合計	265	358
税金等調整前四半期純利益	11,503	12,587
法人税等合計	6,840	6,797
少数株主損益調整前四半期純利益	4,662	5,790
少数株主利益	26	32
四半期純利益	4,636	5,757

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,662	5,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	462	6,211
繰延ヘッジ損益	△70	44
為替換算調整勘定	153	3,013
持分法適用会社に対する持分相当額	206	434
その他の包括利益合計	751	9,704
四半期包括利益	5,414	15,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,397	15,397
少数株主に係る四半期包括利益	17	96

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	152,150	23,212	4,398	179,762	11,602	191,365	—	191,365
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,400	301	253	1,954	5,987	7,942	△7,942	—
計	153,551	23,514	4,652	181,717	17,590	199,307	△7,942	191,365
セグメント利益又は損失 (△)	13,251	△22	△184	13,044	418	13,463	△2,759	10,704

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,759百万円には、のれんの償却額△2,926百万円およびセグメント間取引消去2,761百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,594百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	155,648	31,625	5,419	192,694	12,747	205,441	—	205,441
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,177	446	299	1,923	6,436	8,359	△8,359	—
計	156,826	32,072	5,719	194,617	19,183	213,801	△8,359	205,441
セグメント利益又は損失 (△)	12,654	△687	△659	11,307	471	11,779	△1,655	10,123

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,655百万円には、のれんの償却額△2,492百万円およびセグメント間取引消去3,009百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,171百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。